

# 第17回群馬県世界遺産専門委員会 議事概要

- 1 日時：令和8年3月12日（木）10：30～12：00
- 2 場所：昭和庁舎 34会議室
- 3 出席者：【委員】 荻谷委員長、岡田副委員長、鈴木委員、小林委員、松浦委員、牧野委員  
【助言者】 西主任文化財調査官（文化庁文化資源活用課）  
【オブザーバー】 村田委員長（史跡高山社跡保存整備計画策定委員会）  
【事務局】 群馬県：地域創生部長ほか9名  
富岡市：富岡製糸場課長ほか3名  
伊勢崎市：文化財保護課長ほか4名  
藤岡市：文化財保護課係長ほか2名  
下仁田町：教育課係長代理

## 4 報告事項

- (1) 4資産の保存管理・修理の現状  
各資産の保存管理・修理の現状について、事務局から報告した。
- (2) 世界遺産センター（セカイト）の事業概要  
群馬県立世界遺産センターの事業概要について、事務局から報告した。

## 5 議 題

包括的保存管理計画の改定について

包括的保存管理計画の改定について事務局から説明。別途世界遺産協議会に諮った上で決定するという事で、委員から了承が得られた。

### 【委員等からの主な質疑・意見】

- ・世界遺産の登録から10年以上が経過し、調査研究が進んでいるため、新たに発見された価値についても守られるようなシステムがあると良い。
- ・今回の改定によって、世界遺産の価値を守るための取組が組織的に実施できる仕組みができたのは良いことだと思う。
- ・遺産影響評価の導入について、包括的保存管理計画に記載するのは必要なことであり、今後は、遺産影響評価のシステムについて、行政組織全体に共有していく必要があると考える。
- ・保存のための整備・活用が重要であり、今後の取組について、国内外の好事例などを調査していく必要があると感じる。

## 6 その他

特になし。

(以 上)